



特集 どうする!議員定数

議会議員の定数は、地方自治法で定められていた時もありましたが、現在は、それぞれの自治体の実情に合わせて条例で定められています。鳩山町では鳩山町議会議員定数条例で「12人とする」と規定されています。

しかし、現在の議員の人数は、辞職等により10人（男性8人、女性2人）という状況です。

日頃、各議員が町民の皆様から議員定数についてご意見やご質問等をいただくことがあります。また、鳩山町議会としても、定数について改めて確認・検討が必要な時期ではないかと議員全員でも話し合いを進めています。

このようなことから今回の特集では、鳩山町の議員定数について取り上げました。

● 鳩山町の議員定数の推移

【表－1】

改正年度等	改正内容	当町の人口
平成19年度	16人から13人に	16,134人 (H19.4.1時点)
令和元年度	13人から12人に	13,790人 (R元.4.1時点)
現在	12人	12,729人 (R7.4.1時点)

鳩山町の議員定数は【表－1】のとおり平成19年度までは16人でしたが、人口減少などにより様々な検討が行われ、平成19年度に3人削減し、令和元年度に1人削減し、現在12人になっています。

近隣自治体の議員定数の現状は【表－2】のとおりです。議員定数について現在検討中の自治体が多数あります。また、次回の選挙までに検討するよう考えている自治体もあります。

● 近隣町の議員定数(令和7年12月現在) 【表－2】

町村名	人口	定数	実数		特記事項
			男	女	
鳩山町	12,534	12	10	2	検討中
毛呂山町	30,724	14	12	2	
越生町	10,544	11	7	4	検討中
滑川町	19,762	14	13	1	
嵐山町	17,237	13	10	3	
小川町	27,020	16	14	2	令和9年から定数14に減
ときがわ町	10,129	11	9	2	





★その他

- ・いろいろな人が議員になることが大切だと思う。子育て中の方など、当事者の声を議会で発言できると、民意を把握するために、議員の数は必要。
- ・候補者がたくさん出て、若返ればよいね。
- ・議員はそれぞれよく頑張っていると思う。
- ・近隣自治体でも女性議員が増えている。鳩山ももっと増えて欲しい。
- ・議会の仕事が分からぬから答えない。
- ・報酬と定数の問題は密接な関係。一緒に検討した方が良い。

★現状維持に賛成

- ・町の行財政改革につながるのだったら削減もあり。民意を把握・受け止める力が議員にもっと必要。パワーアップして!
- ・人数が減ると効率的になり、動きが違ってくるのではないか。
- ・現状、10人でやっているのだから、10人で出来るのではないか。
- ・定数（12人）と現状（10人）の間をとって、11人ではどうか。

あなたはどう考える?
町民の皆さんにご意見を伺いました!



● 鳩山町の未来を決める「議会の適正な人数」とは

人口が減り、財政が厳しい中で「議員も減らすべきだ」という意見も聞こえてきます。しかし、ただ人数を減らすことが、本当に住民のためになるのか、いろいろな識者の意見など情報を整理してまとめてみました。

1. 人口が減っても議員の「仕事」は増えている

「人口が減れば議員も減らしてよい」と考えられがちですが、実は地方分権や議会改革によって、議員が取り組むべき仕事量や専門性はむしろ増大しています。

◇多様な声を取りこぼさない：

定数を減らしすぎると、地域、男女、世代間の多様な意見を反映できなくなる恐れがあります。

◇行政のチェック機能：

予算の使い道を厳しくチェックし、より良い政策を提言するためには、一定の人数による組織的な活動が不可欠です。

一方で

◇議事の効率化：

議員が少なくなれば、意見がまとめやすく、議事が簡潔に効率的に進められます。

◇効率的運営：

減少した議員数で議会運営がなされ、審議時間が短くなり効率的な運営ができます。

2. 議論を深めるための「最低限の人数」がある

議会には、特定の分野を詳しく審議する『常任委員会』があります。活発な議論を行い、公正な採決をするためには、「1つの委員会に少なくとも6人（委員長1人+委員5人）」が必要であるという考え方があります。削減しすぎると、専門的な審議が不十分になり、議会としての役割を果たせなくなるリスクがあります。

一方で

◇支持の拡大：

議員定数を減らせば、選挙において従前より多くの支持を必要とすることになり、それだけ広域的なものの考え方をするようになります。

3. 「なり手不足」を防ぎ、議会の質を高めるために

「報酬は安いほうが良い」という考えは、議員を志す人を減らし、結果として議会の質を下げてしまう「ジリ貧」を招きかねません。

◇住民による評価：

適切な報酬を保障した上で、住民の厳しい目で議会を評価し、情報の透明性を高めていくことが、健全な民主主義には欠かせません。

一方で

◇経費削減：

議員定数を削減すれば、経費節減になります。

◇行政改革として：

議会も行政の一環として減少すべきともいわれます。

議員定数についてどう思いますか？

次回の選挙は来年 令和9年4月です。立候補を考える方にとっても時間が必要ですから、少なくとも6月議会頃までには定数を確定したいと思っています。

住民自治の実現に向け議会機能を十分発揮できる定数を考えた時、当町の議員定数12人は適切なのか……。

皆さんは多いと思いますか、それとも少ないと思いますか。

今回は、皆様に現状などお知らせし、ご意見をいただきたいと思っております。

◆ご意見のある方は下記まで

E-mail h250@town.hatoyama.lg.jp
または QRコード（意見記入シート）→

